

5月16日(木) 第8弾仙台的横丁文化を訪ねて：「仙台浅草横丁」



仙台には数々の横丁があり庶民文化を感じられる場所として賑わっている。今回は中心繁華街から少し離れた北仙台「仙台浅草横丁」にて開催した。「仙台浅草横丁」はJR北仙台駅の南側にある横丁。長さ130mの通りを挟むように建つ長屋に居酒屋やスナック、洋菓子店など約30店舗が軒を連ねる。前身は1958年に誕生した「北仙台駅前貿易センター」で、当時は八百屋や魚屋が並ぶ商店街だった。東日本大震災以降に出店店舗が急増し老舗も若い店も地域全体を盛り上げる。昔ながらの良さを残したお店が軒を連ねるため年配から若者まで楽しく過ごせる横丁である。今回のお店は「李さんのキムチ(下記写真参照)」…韓国のおモニ(お母さん)が作る本格韓国屋台料理・キムチと韓国焼肉が旨いマッコリ(やかんできてきます)・チャミスル(韓国焼酎)バーです。今回は韓国料理のコースを選定、メインは「サムゲタン」(丸鳥の腹に高麗人参・もち米・ナツメグなど

の漢方薬材を詰めて長時間煮た鍋物、滋養に富んだ食べ応えのある料理)、チャプチェ(牛肉入り春雨炒め)、海鮮チジミ、韓国風茶碗蒸し、キムチ・カクテキ・ナムル・韓国のり・やっこ等の種類豊富なつまみで参加者一同「旨い・旨い」と食べ、メとして出てきたうどん・おじやも全部たいらげた。大満足の料理でコース以外にチャプチェを追加して食べた普段小食で味にうるさい参加者も満足の様子であった。

解散後一部の参加者は次回7月11日(木)開催するカラオケ会との共同企画での歌を練習するため古き良き時代の「カラオケバー」に行って熱唱した。

「仙台浅草横丁」は小さなお店が並んでいるため少人数で訪れたい、まずは思い切って初めてのお店に飛び込み周りの常連さんと友達になりたい。店主とコミュニケーションを採るのも不可欠である。「常連への道は一見さんから」参加者一同横丁文化に触れ若いころの自分を思い出したようである。



【参加者】佐藤茂雄・岡部修二・磯貝辰雄・高橋健二・阿部善幸・前田健二・小原孝・佐藤勇一
計8名